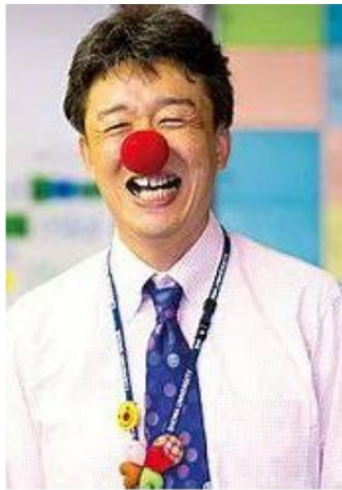


Profile



昭和大学大学院保健医療学研究科

准教授

副島 賢和

Masakazu Soejima

1966年 福岡県生まれ

都留文科大学卒業

東京都公立小学校勤務（25年）

品川区立清水台小学校教諭・昭和大学病院内さいか学級
学校心理士スーパーバイザー

赤い鼻をつけて子ども達と接する姿が注目を集め、日本テレビのドラマ「赤鼻の先生」のモチーフにもなった。『プロフェッショナル仕事の流儀』（NHK総合）にも出演。ホスピタルクラウン（病院で心のケアをする道化師）としての活動にも参加している。

『あかはなそえじ先生の
ひとりじゃないよ
ぼくが院内学級の教師として学んだこと』

院内学級の教師として、赤鼻のピエロとして関わる中で、笑顔を取り戻し、治療に向かう意欲を高めていく子ども達。その経験を基に、子どもとの接し方や保護者・家族との関わり方、院内学級の必要性（院内外に関わらず）教育の重要性などについて語る。



『はなれていても、だいじょうぶ』

コロナ禍での長期休校後の子ども達への対応などに悩み、苦勞している先生方、保護者の方々に、是非ともお勧めしたい一冊

ホスピタルクラウンとしても活躍している筆者が、院内学級で子どもたちや同僚教員、医療従事者そして、その子の家族等との関わりを通し学んだことを語る。

子どもたち等と関わる筆者の視線はあたたかく、「学ぶことは生きること」という信念のもと、子どもたちの学びを止めないために奮闘する姿は優しくも熱い。本書を読んでいるうちにきっと、「はなれていても、だいじょうぶ」という気持ちになってくる。

